

羽ばたけ! TUT2020 報告書

参加プログラム	フリープラン
研修先機関名	Knowledge TRAIN (Online)
プログラム名	PRINCE2 Foundation- Project Management
研修内容	

① 参加の目的や動機

本オンラインコースに参加する主な目的は、PRINCE2 の学習を通じてプロジェクトマネジメントへのプロセスベースのアプローチ (PM methodology) を中心に各種知識を集約させるとプロジェクトマネジメント系の知識が体系的に理解したかったこととあります。大学院の修了後、開発コンサルタントとして都市開発に関連する様々なプロジェクトに携わりますので、ジェネラリスになれるためあまり馴染みのないマーケティング・ビジネス分野における基礎的な知識も身につけたい理由で、本コースを受講することになりました。具体的に勉強したかったのは、PRINCE2 のシラバスに含まれた下記の項目です。

- PM における 7 つの原則
- PRINCE2 プロジェクトマネジメントチームにおける役割の目的と主な責任
- 26 のプロジェクトマネジメント成果物、7 つのテーマ及び 7 つのプロセスの目的
- 7 つのプロセスの目的
- 7 つのプロセスにおけるインプットとアウトプット (マネジメント成果物)
- プロセス、テーマ及びプロジェクトマネジメントチームの役割の間の関係



MENU GLOSSARY TRANSCRIPT

Start

Purpose

Stakeholders

Communication management approach - purpose

The 3 project interests

Project management levels

Combining and sharing roles

Project management team roles

Wedding

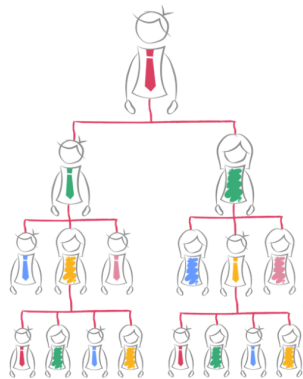
Minimum requirements

Summary

Quiz

Exit

07 Organization theme



Organization

Ensuring everyone on your project management team understands what they are responsible and accountable for is vital to avoid confusion and 'passing the buck'.

図 2: PRINCE2 プロジェクトマネジメントチームの例 (Knowledge Train 画面より)

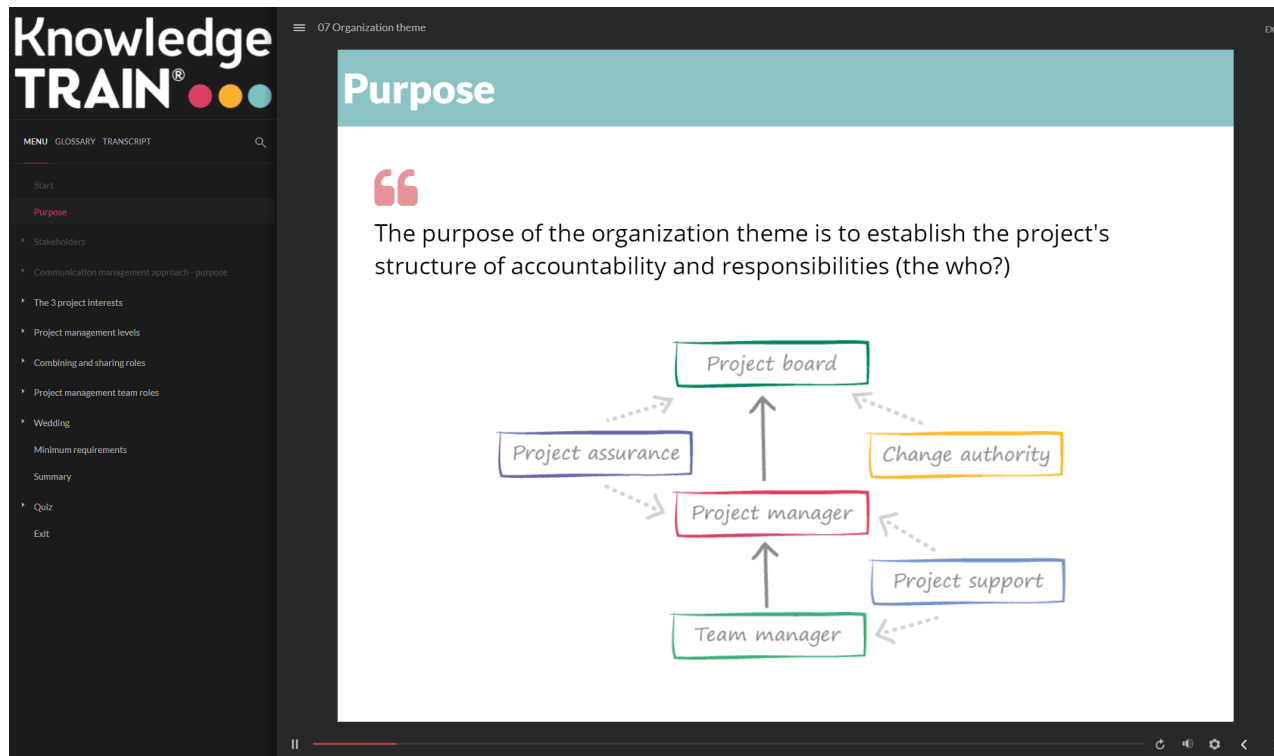


図 3: PRINCE2 役割の目的と主な責任の例 (Knowledge Train 画面より)

② 研修内容

まずは、PRINCE2 について少し紹介します。PRINCE2 は、世界中で広く採用されているプロジェクト管理手法（アプローチ）であり、幅広い業界やセクターの人々や組織で使用されています。この PM 管理手法は、タイプや規模に関係なく、成功するプロジェクトを管理するための基本事項をガイドする柔軟な方法です。詳しくは次に述べるように、7 つの原則、テーマ、およびプロセスに基づいて構築され、特定の要件を満たすように調整されています。

原則

これらは、プロジェクトが PRINCE2 を使用して真に管理されているかどうかを判断するための指針となる要件とグッドプラクティスです。7 つの原則がありますが、それらすべてが適用されない限り、PRINCE2 プロジェクトとして認められません。PRINCE2 の 7 つの原則は次のとおりです。

- ① 継続的なビジネスの正当化：プロジェクトを実行および管理する正当な理由がなければなりません。そうでない場合は、プロジェクトを終了する必要があります。
- ② 経験から学ぶ：PRINCE2 プロジェクトチームは、以前の作業から学んだ教訓を継続的に探し、活用する必要があります。
- ③ 定義された役割と責任：PRINCE2 プロジェクトチームは、明確な組織構造を持ち、適切な人を適切なタスクに関与させる必要があります。
- ④ 段階ごとの管理：PRINCE2 プロジェクトは、段階ごとに計画、監視、および制御する必要があります。
- ⑤ 例外による管理：プロジェクト内で作業する人々には、環境内で効果的に作業するための適切な量の権限を与える必要があります。

- ⑥ 製品に焦点を当てる：PRINCE2 プロジェクトは、製品の定義、納期、品質要件に焦点を当てています。
- ⑦ プロジェクト環境に合わせて調整する：PRINCE2 は、プロジェクトの環境、サイズ、複雑さ、重要性、機能、およびリスクに合わせて調整する必要があります。

テーマ

プロジェクト全体で並行して対処する必要があるプロジェクト管理の側面を説明されています。以下の7つのテーマは、PRINCE2 がさまざまなプロジェクト管理分野に必要とする特定の扱いと、それらが必要な理由を説明されています。PRINCE2 は、各テーマに必要な最小要件を示すことでテーマを適用するのに役立ち、特定の環境に合わせて調整する方法に関する具体的なガイダンスを提供します。7つの PRINCE2 テーマ：

- ① ビジネスクース：プロジェクトのビジネス上の正当性の記録を作成して維持します。
- ② 組織：プロジェクトチーム全体の個々の役割と責任を定義します。
- ③ 品質：品質要件と対策とは何か、そしてプロジェクトがそれらをどのように提供しますか。
- ④ 計画：計画を作成するために必要な手順と、使用する必要のある PRINCE2 手法です。
- ⑤ リスク：プロジェクトに影響を与える可能性のあるリスクと機会を効果的に特定します。
- ⑥ 変更：プロジェクトマネージャーがプロジェクトの変更を評価して対処する方法です。
- ⑦ 進捗状況：計画の継続的な実行可能性とパフォーマンス、およびプロジェクトをどのように、どのように進めますか。

プロセス

これらは、最初のアイデアからプロジェクトの終了（およびメリットの測定）までのプロジェクトライフサイクルのステップを説明されています。各プロセスは、推奨されるアクティビティのチェックリスト、関連する責任、および特定の環境に合わせて調整する方法に関するガイダンスを提供します。7つの PRINCE2 プロセス：

- ① プロジェクトの開始
- ② プロジェクトの指揮
- ③ プロジェクトの開始
- ④ ステージの制御
- ⑤ 製品配送の管理
- ⑥ ステージ境界の管理
- ⑦ プロジェクトを閉じる

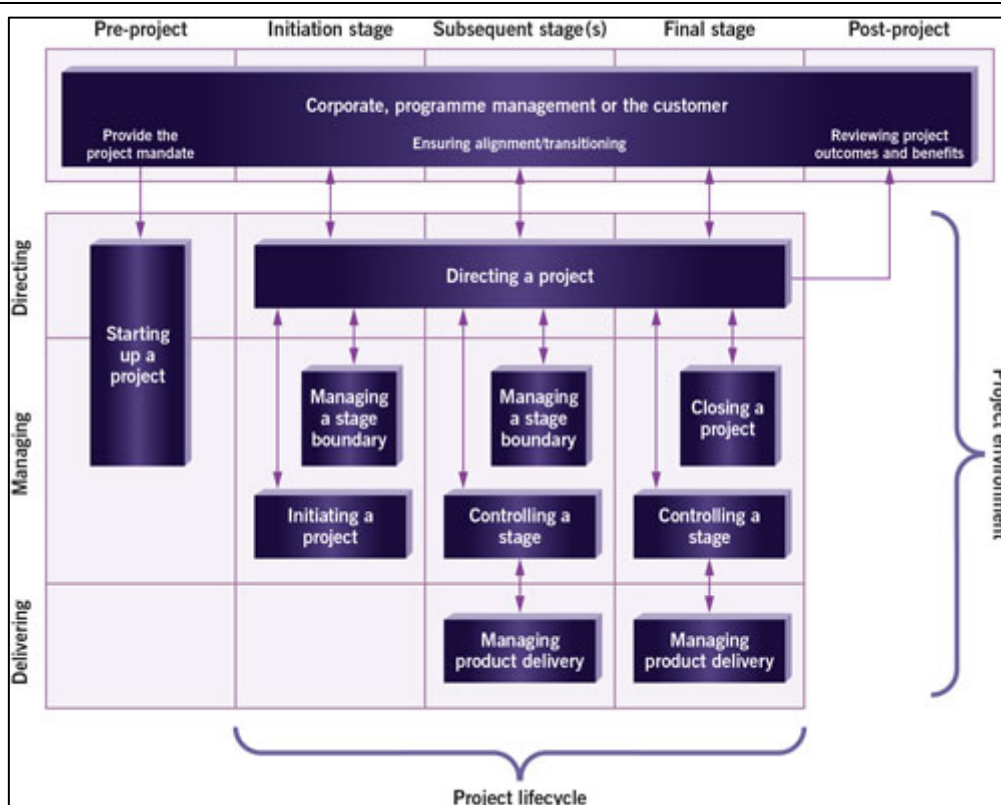


図 4: プロジェクトライフサイクル全体での PRINCE2 プロセスの使用 (AXELOS ページより)

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

この PM コースを受講することを通じて、プロジェクトマネジメント (PM) チームの様々な役割についての理解を深めることができました。具体的には、PM の原則、プロジェクトマネジメントチームにおける役割の目的と主な責任、プロセスの目的、そしてプロセスにおけるインプットとアウトプットについてイメージができました。また、より良いプロジェクト管理をもたらすため、各プロセスのアウトプットがいかに効果的な意思決定を可能とするのかについても詳しく理解できました。

そして、コースに含まれたシミュレーション練習 (図 5) を通じて、より良いプロジェクト計画及び管理が実践できるために必要とされる知識を得ることができ、また各プロジェクト (場面) に潜在的に含まれたリスクがいかに軽減できるのかを考えさせました。ただし、実際にかかわったビジネス場での経験がありませんので、理解しにくいとこともありました。また、受講のペースについてですが、システムのバグが時と発生してしまいますので、すべての章を完成するために予想以上の時間がかかってしまいました。

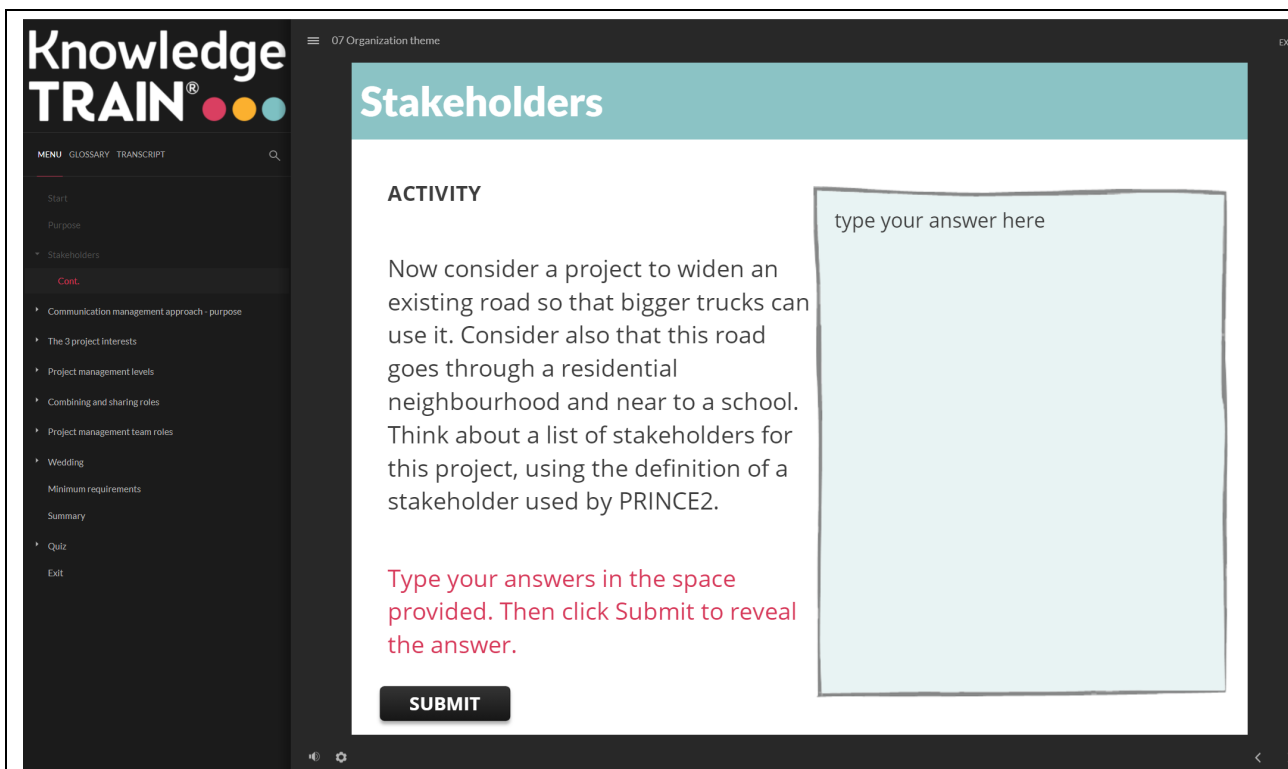


図 5：シミュレーション練習の例（Knowledge Train 画面より）

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

今後は、学んだプロジェクトマネジメントスキルをあらゆるプロジェクトの環境に合わせて適用したいと思います。また、仕事でより効果的な役割を果たせるために、次のステップとしてプラクティシオナの資格を取得することに挑戦したいです。これからも、本コースから得たプロジェクトマネジメントスキルを活かし、実践的に仕事でより効果的な役割を果たせたいと考えます。

⑤ その他感想など

プロジェクトとプログラムの管理能力は、ビジネス環境の競争が激化されているとともに、これからもさまざまな分野においても重要になっています。学生時代に、世界で最も広く採用されているプロジェクト管理方法である PRINCE2 を学習できてよかったと思います。この機会をいただき、誠にありがとうございました。